

2012年(平成24年)6月30日(土曜日)

ヒロシマ音楽譜

作品が紡ぐ復興

⑦

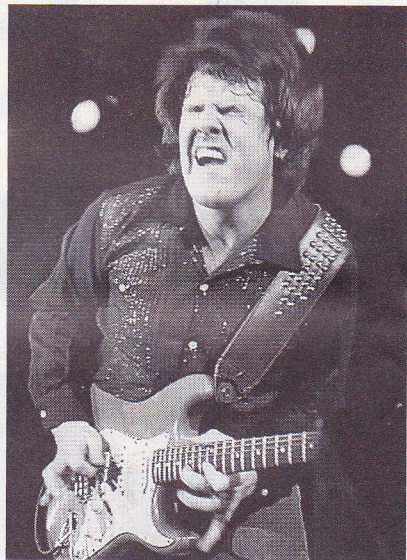
「罪のない人々が炎に
焼かれた」「全世界は深
011年)の「ヒロシマ」

ゲイリー・ムーア

く恥じねはいけない」。
叫び続けるボーカルに、
エレキギターの張り裂け
るような音。アップテン
ポで重厚なドラムの響き
が耳奥に終始たたみかけ
てくる。

ヒロシマをテーマとす
る音楽の大半は歌曲、な
かでも大勢で歌えるよう
なスローテンポでシンパ
ルなものが多い。その中
でひととき異彩を放って
いるのが、このゲイリー

ロックで「原爆」問う



(内田久美子訳)だ。ハ
ードロック、しかも原爆
ードロック、しかも原爆
作詞作曲したロックやア
を飛ばし、80年代以降、
世界各地を席巻した。と
りわけ若者を中心に日本
での人気が高く、83年か
ら通算6度の来日公演
を行っている。ただし、
広島での公演記録はな

反戦の信念 鋭い言葉で

1983年1月、東京・
渋谷公会堂(当時)のス
テージに立ったゲイリー
・ムーア。アルバムにハ
ードロックの曲「ヒロシ
マ」を残した

いた。 楽曲の多くはラフソ
ングである。同時に、ムー
アの音楽に強く反映され
ているのが愛郷心であっ
た。故郷のベルファスト
は国家制度の下では英国
の一地域に統括される
が、アイルランド島に位
置しケルト民族の流れを
くむなど独自の風土をも
つ。自身の源流への愛着
は、営利や流行とは一線
を画した創作へとつなが
っていた。

その故郷に長く深く影
を落としていたのが、北
アイルランド問題であっ
た。紛争が最も激しかつ
た70年代を前に彼は故
郷を離れているが、思春
期に見た数々の醜い争い
への反発が彼の音楽に
もう一つの側面を与え
ている。反戦への強い信
念は言動とともに歌の中
で表現され、しかも言葉
は常に鋭くストレート
だ。

「ヒロシマ」を収めた
アルバム「ダーティ・フ
インガーズ」が製作され
たのは81年(発売は83
年)。「彼らの悲しみを
教訓にいつ起こるとも
しれない悲劇を防がなく
ては」。「もう猶予はな
い」。ムーアの言葉はエ
レキとともに鋭く胸に突
き刺さる。
(広島大特任助教・能登
原由美)